大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

和製英語の形態論

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 平井, 美津子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00005809

J Rehabil Health Sci 2003; **1:** 54-59

報　告

和製英語の形態論

平井美津子[†*]

大阪府立看護大学医療技術短期大学部

受付: 2003年10月7日，受理: 2003年11月7日

Morphology of "Made-in-Japan" English

Mitsuko HIRAI[†]

Osaka Prefecture College of Health Sciences

Recieved October 7, 2003; accepted November 7, 2003

Key words: カタカナ語; 和製英語; 標準英語; 外来語

1 はじめに

明治時代，外来語が日本に次々と流入し，日本人は耳から取り入れた外来語をそのままカタカナ表記して受け入れていった。外来語のうち英語は約90%を占め (野角, 1998)，日本社会に浸透した。しだいに英語に慣れていった日本人は，英語を取り入れる際に日本人の感性を加えて独自のカタカナ語である，和製英語を生み出していった。

本来，外来語をカタカナ表記して取り入れる際，①それまで日本になかった事物や新概念を表すために外来語をカタカナ表記する (例：クリスマス，インターネットなど)，②外国の専門用語をカタカナ表記する (例：オゾン，ペニシリンなど) というルールがあった。そこに新しいイメージを生み出すために日本語をカタカナ語に言い換える (例：職業婦人→キャリアウーマン) ことが求められるようになってきた。しかし，近年では国際化が進み，日本語の中での外来語，特に英語の使用が著しく増大し，分別なくカタカナ語が生み出されるようになってきた。その結果，それが標準英語なのか，日本でしか通じない和製英語なのかの区別がつきにくくなり，外国人とのコミュニケーションの障害となったり，また日本国内で普及しているが外国人に通じないという本来の意味から外れた和製英語が氾濫し，英語教育の中で混乱をきたすという問題もでてきた。

そこで今回，日本で定着し，日本人になじみの深い和製英語を形態論的に分類した上で分析し，そこから日本人が和製英語を作る上での言語学的特徴について考察した。

2 和製英語の分類

ここで著者は和製英語を6種類に分類し，それぞれについての定義づけを行った。

(1) 分類上の定義

①結合型：標準英語があるのにもかかわらず日本人の視点から独自に英単語を組み合わせたもの。

例：シャープペン (sharp pen) → (標準英語：mechanical pencil)

ワンルームマンション (one-room mansion) → (標準英語：studio apartment)

②縮約型：2語以上でできている標準英語を縮めたもの。

例：ノートパソコン　notebook personal computer

セクハラ　sexual harassment

③省略型：英単語の一部や，2語以上から成る英語から1語 (以上) を省略したもの。

例：リストラ　restructuring

ボールペン　ballpoint pen

コンビニ　convenience store

④付加型：標準英語に英単語を付け加え説明過剰なも

[†] E-mail：m-hirai@gem.hi-ho.ne.jp

[*] 大阪府立看護大学医療技術短期大学部非常勤講師

の。

例：ジャンパースカート (jumper skirt) → (標準英語：jumper)

ダイニングキッチン (dining kitchen) → (標準英語：kitchen)

⑤混合型：和製英語にさらに縮約，省略，付加などを行ったもの。

例：ジーパン (jeapan；jeans + pants；結合型＋縮約型) → (標準英語：jeans)

ナイター (nighter；省略型＋付加型) → (標準英語：night game)

⑥その他：上記①～⑤のいずれにも属さないもの[*1]。

Table 1　日本人になじみの深い和製英語110語

和製英語	造語法						対応する英語
	結合型	縮約型	省略型	付加型	混合型	その他	
アイスキャンディ ice candy	○						popsicle, ice-lolly
アイスコーヒー ice coffee	○						iced coffee, coffee with ice
アパート apart			○				apartment
アフターサービス after service			○				after-sales service, customer service
アメリカンコーヒー American coffee						○	weak coffee
アルミホイル alumi foil		○					aluminum foil
イメージチェンジ image change	○						change of image, makeover
エアコン aircon		○					air conditioner
エンゲージリング engage ring		○					engagement ring
オーダーメード order made	○						custom made, made-to-order
オートバイ auto bi(ke)					○		motorcycle
オートロック auto lock	○						self-locking door
オフィスレディー (OL) office lady	○						female office worker
オーブントースター oven toaster	○						toaster oven
ガードマン guard man	○						(security) guard
ガムテープ gum tape	○						packing tape
カメラマン camera man	○						photographer
カレーライス curry rice			○				curry with rice, curry and rice
カンニング cunning						○	cheating
キウイ kiwi			○				kiwi fruit
キーホルダー key holder	○						key ring, key chain
キャッチホン catch phone	○						call waiting
ギャラ guara			○				guarantee
グレードアップ grade-up	○						upgrade
ゲートボール gate ball	○						Japanese croquet
ゲームセンター game center	○						(game) arcade
コインロッカー coin locker			○				coin-operated locker
コネ conne			○				connections
コンセント concent(ric plug)					○		outlet
コンビニ conveni			○				convenience store
サインペン sign pen	○						felt-tip pen
サマータイム summer time	○						daylight saving time
サラリーマン salaryman			○				salaried worker
ジェットコースター jet coaster	○						roller coaster
シーズンオフ season off	○						off-season

[*1] 和製英語化したカタカナ語の中には，カンニング (標準英語：cheating) やマンション (標準英語：condominium) のように本来の英語の意味とかなりずれがあるもの，ホチキス (標準英語：stapler) のように商品名が日本語化したもの，さらにさよならホームラン (game-ending home run [homer]) のように，日本語と英語を組み合わせたものなどが含まれる。今回は形態論的な分析が目的であったため，これらの分析に関しては稿を改める必要があると考え省略した。

和製英語	造語法						対応する英語
	結合型	縮約型	省略型	付加型	混合型	その他	
シーチキン sea chicken						○	tuna
ジーパン jeapan					○		jeans
シール seal						○	sticker
シャープペン sharp pencil	○						mechanical pencil
ジャンパースカート jumper skirt				○			jumper
シルバーシート silver seat	○						priority seat
スキンシップ skinship	○						physical contact
スーパー super			○				supermarket
スリーサイズ three size	○						measurements
スリッパ slipper			○				slippers
セクハラ sex harra		○					sexual harassment
セロテープ sellotape						○	Scotch tape, Sellotape
ソフトクリーム soft cream			○				soft served ice cream
ダイニングキッチン dining kitchen (DK)				○			kitchen
タイムサービス time service	○						limited special offer
タレント talent						○	personality
チャイルドシート child seat	○						(child-)car seat
デコレーションケーキ decoration cake	○						decorated cake, fancy cake
デジカメ degicame		○					digital camera
デパート depart			○				department store
テレビ televi			○				television
ドクターストップ doctor stop	○						doctor's order
トランプ trump						○	cards
トレパン train(ing) pan(ts)					○		sweat pants
ナイター nighter					○		night game
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰ number display	○						caller ID
ノースリーブ no-sleeve	○						sleeveless
バイキング viking						○	buffet, all-you-can-eat
パインジュース pine juice			○				pineapple juice
パソコン persocon		○					personal computer
ハッピーエンド happy end			○				happy ending
パトカー patcar		○					patrol car, police car
パート part			○				part time
ハムエッグ ham egg			○				ham and eggs
ハムサンド ham sand			○				ham sandwich
ハローワーク hello work	○						employment agency
ハンカチ handkerchi			○				handkerchief
パンスト pansto		○					panty stockings, pantyhose
パンフ pamph			○				pamphlet
ピアス pierce			○				pierced earrings
ビーフシチュー beef stew	○						stewed beef
ビル buil			○				building
ファミコン fami(ly)com(puter)					○		video game, computer games
ファミレス fami(ly) res(taurant)					○		restaurant
ファスナー fastener						○	zipper
プッシュホン push phone			○				push-button phone
フライパン fry pan			○				frying pan

和製英語	造語法						対応する英語
	結合型	縮約型	省略型	付加型	混合型	その他	
フライドポテト fried potato	○						French fries
フリーサイズ free size	○						one size fits all
フリーダイヤル free dial	○						toll-free number
(ホテルの)フロント front			○				front desk
ベビーカー baby car	○						stroller, pushchair
ホチキス hotchkiss						○	stapler
ポケットベル pocket bell	○						beeper
ホームヘルパー home helper				○			home help
ボールペン ballpen			○				ballpoint pen
マイカー my car	○						private car
マジック(ペン) magic pen	○						magic marker, felt-tip pen
マンション mansion						○	condominium
ミキサー mixer						○	blender, liquidizer
ミシン machine			○				sewing machine
メイク make			○				makeup
モーニングコール morning call	○						wake-up call
モーニングサービス morning service	○						breakfast special
ラジカセ radi(o) casse(tte)					○		radio cassette recorder
リストラ restru			○				restructuring
リハビリ rehabili			○				rehabilitation
リモコン remocon		○					remote control
レジ regi			○				cash register, cashier
ロールパン roll pan				○			(bread) roll
ワイシャツ white shirt	○						(dress) shirt
ワープロ worpro		○					word processor
ワンパターン one pattern	○						one-track mind
ワンピース one piece	○						(long) dress
ワンルームマンション one-room mansion	○						studio apartment

以上の定義に基づいて，日本人になじみの深い和製英語110語を取り出して分類し，形態論的に分析した結果をTable 1に示す。

3 和製英語の形態論的分析

日本人は言語に寛容であるといわれるが，一方で寛容に取り入れながら日本人の感性も大事にしてそれを織り交ぜていくという側面をあわせもつ。そのことを裏付ける代表的な例として，アメリカ文化の象徴である野球(Table 2)と自動車(Table 3)の用語があげられる。

本来カタカナ語は，日本語になかった概念を取り入れるために用いられたものであるが，最近では日本独自のものであるにもかかわらず，英単語を組み合わせて和製英語をつくるという例がしばしばみうけられる。例えば，日本語では聞こえがよくないため，意図的に英単語を組み合わせ作られる和製英語である。これは特に，キャバクラ(和製英語：cabaret club)やラブホテル(和製英語：love hotel)，テレクラ(和製英語：telephone club)といった風俗関係の用語によくみられる[*2]。

また，前述した「キャリアウーマン」以外に，「職業安定所」→「ハローワーク(hello work)(標準英語：employment agency)」，「優先座席」→「シルバーシート(silver seat)(標準英語：priority seat)」などは，時代の流れにあわせて，本来日本語であったものを従来のイメージを一新させるために英語を組みあわせた例である。

今回，Table 1-3の和製英語126語を形態論的に分析したところ，

(2) 和製英語の分類

① 結合型　55語　44%
② 縮約型　10語　8%
③ 省略型　35語　28%
④ 付加型　5語　4%

[*2] これらは日本人が独自に作った和製英語であるため，標準英語はない。

Table 2　野球英語

和製英語	標準英語	分　類
キャッチボール　catch ball	catch	付加型
スタンドプレー　stand play	grandstand play	省略型
デッドボール（死球）　dead ball	hit by a pitch	結合型
トップバッター　top batter	leadoff	結合型
バックネット　back net	backstop	結合型
フォアボール（四球）　four ball	walk	結合型
フルベース（満塁）　full base	bases loaded	結合型
ランニングホームラン running home run	Inside-the-park home run	結合型

Table 3　自動車英語

和製英語	標準英語	分　類
アクセル　accel	accelerator	省略型
ガソリンスタンド gasoline stand	service station, gas station	結合型
キャンピングカー　camping car	camper	結合型
ダンプカー　dump car	dump truck	結合型
バックミラー　back mirror	rear-view mirror	結合型
パンク　punk	puncture, flat tire	省略型
ハンドル　handle	steering wheel	その他
フロントガラス　front glass	windshield, windscreen	結合型

⑤ 混合型　　8語　　6％

⑥ その他　　13語　　10%

となり，結合型，次いで省略型の順で多いことがわかった。さらに結合型の組み合わせについて詳しくみてみると，(3) に示すように，

(3)　結合型和製英語の組み合わせ方

① 名詞＋名詞　　41語[*3]

② 形容詞＋名詞　　12語 (分詞形も含む)

③ 名詞＋前置詞　　2語

「名詞＋名詞」の結合型が7割以上を占めていることがわかった。

4　日本人が和製英語を作る際の特徴

全般的な特徴として，日本人が和製英語を作る際，日本人の感性で英語の名詞を選択して組み合わせる傾向がある。例えば (4) に示すように，

(4)　新婚旅行中に宿った子ども → ハネムーンベビー (honeymoon baby)

免許をもっているが車の運転をしない人 → ペーパードライバー (paper driver)

公共機関の車内で携帯電話の電源 (着信音) を切ること → マナーモード (manner mode)

などは，言い得て妙な和製英語である[*2]。また (5) で示すように，

(5)　フリーダイアル (標準英語：toll-free number)

モーニングサービス (標準英語：breakfast special)

ポケットベル (標準英語：beeper)

などは標準英語があるのにもかかわらず，日本人独自の感覚で組み合わせたものや，シーズンオフ (標準英語：off season) やオーブントースター (標準英語：toaster oven) などのように語順が変わったりしている例もある。

[*3] スキンシップは名詞 “skin” と名詞を作る接辞 “-ship” を組み合わせたものであるが，ここでは一種の結合型とみなした。

一方，標準英語の形で導入されても，

(6)　convenience store → コンビニ (ko·n·bi·ni)

department store → デパート (de·pa·a·to)

personal computer → パソコン (pa·so·ko·n)

などに示すように，4音節に縮約したり省略したりすることが好まれる傾向にある。また長い英単語に対しては，(7) に示すように語尾を省略して2〜4音節にまとめる傾向もみられる。

(7)　ビル　　building

アパート　　apartment

テレビ　　television

ところで日本語は英語と違って，単数・複数の区別，時制，人称などに対し，特別な注意を払う必要がない。このことが (8) に示すように和製英語を作る際にも反映されている。

(8)　サラリーマン　　salaried man

フライパン　　frying pan

エンゲージリング　　engagement ring

スリッパ　　slippers

今回は限られた数の中での分析であったが，本来の英語の意味とずれた形で日本人に定着しているものが意外に多いことがわかった。

5　お　わ　り　に

本来日本語であったものをイメージ一新のために日本人の視点で英語を組み合わせたり，また日本人が言いやすいように縮約したり省略したりしてカタカナ語を作ることは，特にメディア (新聞，テレビ，広告など) では一般的な手法である。しかしメディアの影響は大きく，これを通じて日本国内に広がったカタカナ語，特に和製英語は，実際には英語として通用せず，英語でのコミュニケーションの障壁になっているのは事実である。

近年，日本社会においてカタカナ語が氾濫し，わかりにくいカタカナ語の増加に伴い，2003年国立国語研究所

より「外来語言い換え提案」[*4]が発表された。これは，公共の場で使われているにもかかわらず，一般にはわかりにくい外来語をわかりやすく日本語に言い換えるための具体的提案である。この中にはアイドリングストップ(停車時エンジン停止)，デイサービス(日帰り介護)，ノンステップバス(無段差バス)など現代生活に密着しているものの，今ひとつ意味がわかりにくかった和製英語も含まれている。これらの和製英語は作られてからまだ日も浅く，現段階の早い時期に日本語で言い換えておくという提案はよいことである。しかし広く一般に浸透し，日本社会の中で定着してしまっている和製英語に関しては，英語教育の中で正しい英語を教えていくべきであろうし，また実務で英語を必要とする人は和製英語に関心をもって自ら正していくことが必要であろう。

日本人が欧米の文化を取り入れ，その模倣の中から新しいものを生み出すという姿勢は，産業だけではなく言語にも現れている。今回の分析から，日本人が和製英語を作る際の大きな特徴として，日本人の感性で見たり聞いたりしたものをそのまま名詞の組み合わせ(時に形容詞と名詞)で表現する傾向が強いということがわかった。また，日本人の舌や口の動きにあうように，4音節に縮めたり，長い英単語の語尾を省略したり，時に語順を変えたりする傾向もみられる。例えば，ウォークマンやカラオケ，ポケモン，古くはキッコーマンなど日本発信のものが世界にでて成功しているが，特にそのネーミングにおいて4音節が好まれているのは事実である。日本人が発音しやすい音韻形態とはどのようなものかについての研究は，今後の検討課題になろう。

最後に2003年，ニューヨークヤンキースに入団した松井秀喜選手が「満塁ホームラン」を打った。その時にアナウンサーが“grand slam”と叫んでいるのを聞いたのは記憶に新しく，「グランドスラム」が「満塁ホームラン」のことであると知った日本人は少なくないであろう。アメリカ文化の象徴である野球や自動車の用語は，本来ならそのままの英語の形で日本に導入され定着しているはずのものである。なぜそれらの用語の多くが和製英語の形で日本社会の中で浸透したのかという点について，歴史的，語源的に考察を行うことは興味深い。

[*4] http://kokken.go.jp/public/gairaigo/Teian2_tyuukan/

謝　　辞

論文を作成するにあたり協力していただいた京都経済短期大学非常勤講師 片桐真紀先生に心から感謝の意を表します。

文　　献

Baugh AC, Cable T, 永嶋大典 (1989) “英語史”，研究社，東京，p.371-431.

Elliott WI, 稲葉茂生 (1998) “和製英語と日常短縮英語ハンドブック”，ハイネ社，東京，p.1-304.

学研辞典編集部編 (2002) “カタカナ新語辞典”，学研，東京，p.1-594.

株式会社日鉄ヒューマンデベロップメント(1995) “日本を語る”，アルク，東京，p.30-31.

小林忠夫 (1999) “カタカナ語の正体”，丸善，東京，p.99-161.

講談社インターナショナル (2002) “これを英語で言えますか”，講談社，東京，p.58-69.

野角幸子 (1998) “日本社会にあふれるカタカナ語”，新風舎，東京，p.10-138.

大野晋，森本哲郎，鈴木孝夫 (2001) “日本・日本語・日本人”，新潮社，東京，p.59-86.

多賀敏行 (1991) “国際人の英語”，丸善，東京，p.73-114.

多賀敏行(1992) “文化としての英語”，丸善，東京，p.121-161.

Webb J (1992) “カタカナ英語のミス”，Japan Times，東京，p.1-114.

山岸勝栄 (2000) “日本言語文化論考”，こびあん書房，東京，p.128-135.